

平成29年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 (職)教授 (氏名)河野有時

取組状況	
教育	<p>第1学年の古典では古文、漢文を理解するための基礎的な言葉の意味や文法事項を理解することに力点を置き指導した。第3学年では教材の内容に係る視聴覚教材を用いて自ら考える能力の育成に力を注いだ。第4学年日本語表現法及び第5学年の言語コミュニケーションでは、進路を視野に入れた実践的な演習を行った。また、日本文学では、文字による表現と漫画や映像による表現の対比から、それぞれの表現の特質について考察した。今年度から開始された、課題研究では「ジャパニーズホラーの研究」と題して、邦画とそのリメイク作品を比較しての考察を課題とした。専攻科の日本語表現では演習にビデオカメラを用い、自分がプレゼンしている姿を自身で確かめることによって、より具体的に課題を発見し解決できるように努めた。</p>
研究	<p>これまでの啄木短歌についての論考を「啄木短歌の研究」として、学位論文にまとめた。それにより、東北大学より博士(文学)の学位を受けた。 また、学位論文を『啄木短歌論』として、笠間書院より刊行した。</p>
社会貢献	<p>「理系中学生のための国語講座」と題した公開講座を実施し、中学生を対象に国語の楽しみ方を講義した。 また、シーズ集にも相談に応じられる分野を掲載し、相談等への対応を今後も続けていきたい。</p>